

発行日：令和2年5月29日
 汲沢地区社会福祉協議会
 汲沢地区連合町内会

地区報 ぐみさわ

第14号

令和2年度役員体制・事業計画が決定されました。

汲沢地区社会福祉協議会および汲沢地区連合町内会の令和2年度の役員体制・事業計画等が決定されましたので以下に紹介いたします。

○ 汲沢地区社会福祉協議会役員（敬称略）

役職名	氏名	出身団体	役職名	氏名	出身団体
会長	本田 馨	汲沢町内会	理事	大森 茂富	汲沢さつき町内会
副会長	石井 徹	地区民生委員・児童委員協議会	理事	近藤 京子	汲沢町内会
理事	金山 保	青少年指導員	理事	菅原 精一	汲沢西団地自治会
理事	石井 健次	保健活動推進員	事務局長	小林 浩	ぐみさわ東ハイツ自治会
理事	古賀 理恵	交通安全母の会	会計	小林 浩	ぐみさわ東ハイツ自治会
理事	猪口 英子	消費生活推進員	監事	阿久津芳江	ぐみさわ東ハイツ自治会
理事	羽場崎 勤	家庭防災員連絡員	監事	古川 正弘	ぐみさわ東ハイツ自治会
理事	中澤 一勇	老人会・友愛会	参与	金子 裕利	汲沢地域ケアプラザ
理事	長谷川和孝	大久保自治会			

○ 汲沢地区連合町内会理事会役員（敬称略）

役職名	氏名	出身団体	役職名	氏名	出身団体	
会長	石井 利明	汲沢町内会会長	常任委員	長谷川和孝	大久保自治会副会長	
副会長	木村 勇	大久保自治会会長	常任委員	佐野 潤一	大久保自治会副会長	
副会長	笹原 謙策	汲沢西団地自治会会長	常任委員	佐々木太郎	汲沢西団地自治会副会長	
会計	阿久津芳江	ぐみさわ東ハイツ自治会会長	常任委員	関澤 光子	汲沢西団地自治会副会長	
会計監査	山下 聡	汲沢さつき町内会会長	常任委員	古川 正弘	ぐみさわ東ハイツ自治会副会長	
会計監査	柿沼 肇	ライオン戸塚第3自治会会長	常任委員	大森 茂富	汲沢さつき町内会副会長	
常任委員	石井 市作	汲沢町内会副会長	常任委員	小森かおり	汲沢さつき町内会副会長	
常任委員	石井 周夫	汲沢町内会副会長	常任委員	竹島 和子	ライオン戸塚第3自治会副会長	
常任委員	近藤 京子	汲沢町内会副会長	常任委員	本田 馨	地区社会福祉協議会会長	
町内会自治会 団体名	汲沢町内会	ぐみさわ東 ハイツ自治会	大久保自治会	汲沢さつき 町内会	汲沢西団地自 治会	ライオン戸塚第 3自治会
民生委員 (主任児童委員)	◎石井 徹 鈴木義雄	中倉瑠里子	松本 愛子 (石井頼子)	仲庭久美子 (織田智子)	金木クミ子	金山 保
スポーツ推進委員	東郷 佳子 清水 力	◎藤田 卓也	高山 智	小林 登	中野 泰志	成田 修三
青少年指導員	石井 彰 望月 大嗣	山本 昇	梅原 稔	小菅 直子	松尾 寛和 松尾 千尋	◎金山 保
保健活動推進員	◎石井 健次 今井 健二	石丸 京子 石井 頼子	橋本 恵子	福島カツ子	椎野 節子	高松 平吉

町内会自治会 団体名	汲沢町内会	ぐみさわ東 ハイツ自治会	大久保自治会	汲沢さつき 町内会	汲沢西団地自 治会	ライオンズ 戸塚第 3自治会
子供会・育成会	◎古賀 理恵 直江 啓子	奥村 美紀	——	——	——	——
消費生活推進員	久保田優子	茂木 緑	◎猪口 英子 中島由香子	大沼 幸司	真美美智子	六岡 朋子
家庭防災員	太田 典子	古川 正弘 福田 恭子 田中謙三郎	滝田 恵子 金ヶ崎淳子 千賀 治也	伏間江健司 今元 悦子	◎羽場崎 勤 岩田 工 安藤 聖子	井上征四郎 福田 良子
連合町会女性部	◎古賀 理恵	——	武者 千里	——	——	——
環境事業推進委員	◎馬場 芳宏 近藤 幸男 鈴木 義雄	齋藤麻理子	長谷川政博	中野 忠	原 千尋	杉本 毅
老人会・友愛会	石井しげみ	赤坂 彰夫	◎中澤 一男	小屋 雅彦	上田 由大	——
交通安全母の会	◎古賀 理恵 折原 明美	板倉 美和	武者 千里	本多 明子 市川 芳子	中村 昭美	——
戸塚交通安全協会汲沢支部	◎森 久夫	——	本田 安寛	大庭 正広	竹本 秀晴	——

注) 代表◎印

○ 令和2年度事業計画（新型コロナウイルス感染対策で中止になる事業もあり得ます。）

社会福祉協議会、連合町内会、民生委員、青少年指導員、交通安全母の会、子ども会などの団体が主体となって実施するものです。詳細はその都度回覧等でお知らせします。

実施時期	事業名	対象者	実施場所
R2年7月5日(日)	七夕まつり	幼児・小学生、高齢者	汲沢地域ケアプラザ
中 止	汲沢納涼祭	汲沢地域住民	汲沢地域ケアプラザ
R2年8月16日(日)	夏休み工作教室	小学生	汲沢地域ケアプラザ
R2年8月29日(土)	地区懇談会	汲沢地域住民	汲沢地域ケアプラザ
R2年9月6日(日)	敬老の集い	77歳以上の地域住民	こばと幼稚園体育館
R2年10月18日(日)	連合レクリエーション大会	汲沢地域住民	こばと幼稚園園庭
R2年11月23日(月)	汲沢健康ウォークラリー	汲沢地域住民	汲沢地区エリア
R2年11月14日(土)	環境美化活動(花植え)	小学生	まさかりが淵市民の森
R2年12月6日(日)	クリスマスリース作り	小学生、地域住民	汲沢地域ケアプラザ
R2年12月20日(土)	人形劇	幼児、小学生、地域住民	汲沢地域ケアプラザ
未 定	医療講演会	地域住民	汲沢地域ケアプラザ
10, 12, 2月の第1火曜日	ふれあい会食の会 (ミニディ)	地域高齢者	汲沢地域ケアプラザ
9, 11, 1, 3月の第1火曜日	誕生会		
R3年3.E	お花見		

◎ 戸塚交通安全協会（汲沢支部）の紹介

交通安全協会とは、道路交通の安全を目的とする非営利法人です。全国組織、都道府県での組織さらに各警察署単位での地域交通安全協会があります。

戸塚区交通安全協会は任意団体として独立事業・活動をしており、基本的には戸塚区下各連合町内会単位にて支部として組織構成されています。各月の活動として次のような催事があります。

- 4月：自転車マナーアップ運動
- 6月：自転車安全点検活動
- 7月：夏の交通安全運動～東戸塚駅前にてキャンペーン活動
- 9月：秋の交通安全運動～戸塚駅東口にてキャンペーン活動
- 10月：放置自転車クリーンキャンペーン活動
- 11月：違法駐車追放運動、放置自転車クリーンキャンペーン活動
- 12月：飲酒運転根絶キャンペーン活動、年末の交通安全運動～戸塚駅東口にて
キャンペーン活動

- 2月：放置自転車防止キャンペーン活動

この他に各地域での祭り、フェア、イベント等にて交通事故防止活動、交通安全協会広報車による呼び掛け活動を年間108回実施しています。また、保育園、幼稚園、小学校、高等学校にて交通安全教室を実施しています。特に小学校においては戸塚区内27校で実施しました。高齢者交通安全教室も実施しています。

これらの活動を時には戸塚交通安全母の会と伴に活動し、戸塚区内各地域より交通事故が無くなるように活動しています。しかし、残念ながら交通事故は時には発生してしまいます。

住民の皆様へのお願いとして「自分の身の安全は自身で守る」という強い意識を持っていただければ大変嬉しく思います。

今後とも戸塚交通安全協会と戸塚交通安全母の会の活動にご理解いただけます様、宜しくお願い申しあげます。

(戸塚交通安全協会汲沢支部長 : 森 久夫)

* 戸塚交通安全協会汲沢支部役員名 (敬称略)

町内会・自治会名	氏名
汲沢町内会	森 久夫
大久保自治会	本田 安寛
さつき町内会	大庭 正広
西団地自治会	竹本 秀晴

汲沢を通る国道一号線にまつわる歴史3話をシリーズで紹介します。その内容は次の通りです。

第一話：東海道国道1号線は誰が作ったか。

第二話：日本で初めての上り下り別々の専用線はどのようにして実現したか。

第三話：日本における道路工事機械化の基礎を固めたワンマン道路。

◎第一話 東海道国道1号線は誰が作ったか。

藤沢から、戸塚を経て保土ヶ谷へと通じる国道一号線は徳川家康（以降「家康」と記す）によって軍用道路として建設された。

江戸から小田原を結ぶ街道は、江戸往還と呼ばれ藤沢から保土ヶ谷のあいだは、戸塚を經由せず藤沢遊行寺から大船駅付近を通り上大岡を經由し保土ヶ谷であった。

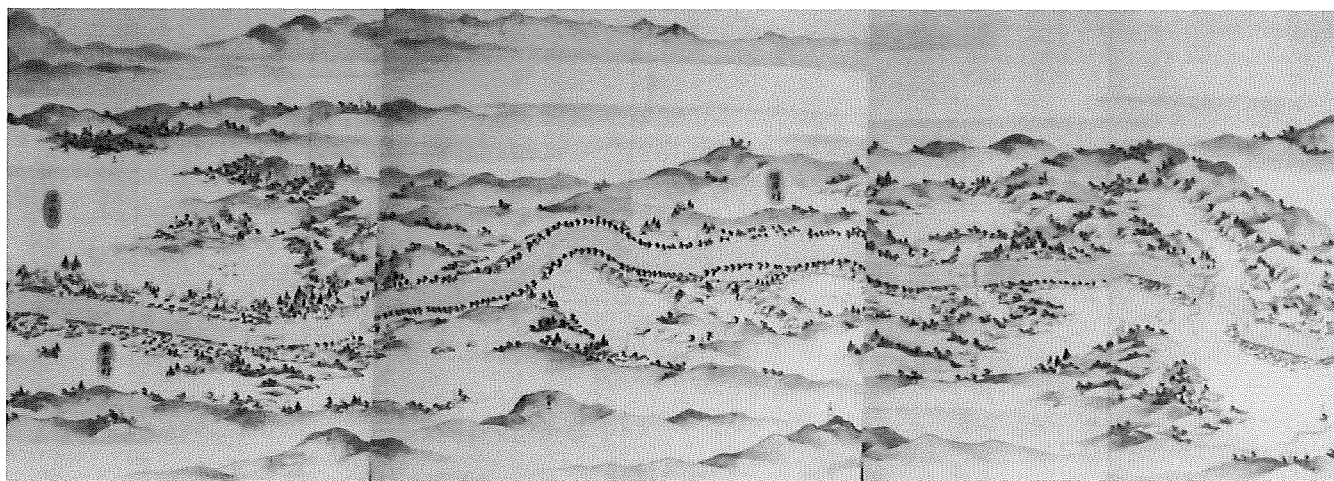
この道は雨が降ると、大船駅付近で柏尾川が氾濫して水が引いても長期間使えなかった。

家康は、全国統一を目指した豊臣秀吉による領地政策により、浜松、三河の領地から江戸・関八州へと国替えとなった。

自領地の防衛に当たっては、西方の箱根を防守拠点した場合江戸往還の道では柏尾川の氾濫時の隘路対策として迂回路の建設が必須でした。家康は急遽道路設計にかかり、藤沢遊行寺から原宿、戸塚を經由し境木地蔵を経て保土ヶ谷のルート設定を行い突貫工事で整備を行った。

この工事には、鎌倉時代から室町時代の揺籃期1336年（延元元年）に、汲沢に住み始め六代を経過後、森家の初代を名乗った、その三代目義秀（森家に残る家譜により）に家康より1591年（天正19年）東海道、道普請を命令され実行したことが記載されている。この道は家康が天下統一を果たす関ヶ原の戦い、大坂夏の陣、冬の陣で大きな推進力となった。その後、3代将軍徳川家光により松並木の整備が行なわれた。

（環境事業推進委員：馬場 芳宏）



* 江戸時代の汲沢分間地図（左端原宿、吹上、中央松並木、右端大阪上、大阪台）

◎ 人形劇&合唱 クリスマス会

12月21日、汲沢地域ケアプラザでクリスマス会が催されました。今年は「人形劇団めるへん」さんにお越しいただきました。活動を始めてから30年というベテランの皆さんです。「すいかどろぼう」など、手作りの人形たちによるユーモアにあふれた動きでお話を盛り上げてくれました。「おにのパンツ」や「どれみのうた」は、可愛い人形たちのダンスに合わせて一緒に楽しく歌いました。

汲沢中学校合唱部の皆さんによるクリスマスソングの合唱と音楽劇は、生徒さんたちの優しい歌声と力のこもった演技に魅了されました。この日のために練習を重ねてくださったそうで、小さなお子さんたちが楽しめるような演出や衣装など、いろいろな工夫がうかがえました。最後は恒例のサンタさん登場です。お菓子のプレゼントをもらって皆さん笑顔で会場を後にしました。

(汲沢地区青少年指導員：仲庭 久美子)



◎クリスマスリース&ツリー工作

12月1日、汲沢地域ケアプラザにてクリスマスのリースとツリー作りを行いました。実はこの行事、子どもさんだけではなくおとなも参加できるのです。皆さんの感想から。

「リース作りは夢があっていい。いつも楽しみにしています。今年はツリーに挑戦しました。孫にプレゼントしています。」G・Mさん

「家では材料が集められないので子どもと選べて楽しかったです。」S・Aさん

「毎年参加していますがいつも楽しみにしています。」T・Kさん

「初めて参加します。難しい！うー、大変です。(笑)」K・Mさん

「初めてです。もっと簡単にできると思ったけど難しいですね。でも楽しいので来年も参加したいです。」S・Sさん

「毎年参加させていただき楽しみにしています。」H・Yさん

皆で楽しく作るひときは、冬の寒さも忘れるほどです。次回はご一緒にいかがでしょうか。

(青少年指導員：松尾 千尋)

◎ 令和元年度 汲沢小学校地域防災拠点訓練に参加して

去る2月23日に例年実施されている汲沢小学校地域防災拠点訓練に参加しました。汲沢連合関係からは、汲沢町内会・東ハイツ自治会・ライオンズ戸塚第3自治会から約100名が参加し、他に北汲沢連合町内会、踊場連合町内会更に区役所、汲沢小学校、戸塚消防団第5分団など総勢で約280名の参加をもって行われました。今回は新型コロナウイルス感染対策もあって室内（体育館）での訓練はならず、屋外（校庭）における起震車によるマグニチュード7.5体験、簡易担架操作法、簡易トイレ・備蓄庫の見学等でした。

備蓄庫には防災拠点住人の全ての3日分食糧・飲料水が保管されている訳ではなく、「非常食等一人当たり3日分の備蓄は個人が行う」が基本ということを実感しました。

常日頃言われていることではあるが、「自分の身は自分で守る」の自助の心構えが重要と再認識した次第です。

(汲沢町内会東栄ブロック：K.H)



起震車で震度
7.5を体験

簡易担架操作体験
(重そう!)



新しく設営された備蓄庫

【編集後記】

本年は、中国の武漢から発生した新型コロナウイルスが世界中に拡散し、緊急事態宣言などで政治・経済面などで大変な悪影響を及ぼすスタートとなりました。全世界に拡大した感染は終息の見通しが立たず、有効な対策が打てずにいます。しかも感染経路が把握できない感染が多発しています。今大事なことは、国民一人一人が不要不急な外出は自粛して自らが感染しない、また他人に感染させないことが大変重要と思います。(K.H)

(編集委員) 猪口 英子・金木 クミ子・小林 浩・仲庭 久美子・茂木 緑・本田 馨

(アドバイザー) 金子 裕利